

平成29年度 事業報告

社会福祉法人 善 興 会

「住み慣れたお部屋で終末を迎えたい。」ゲストの思いは、医師の判断により始まりとなる。看取り介護は、ご本人、家族、医師、介護職員とのコミュニケーションが重要であり、スタッフの教育体制が要である。

善興会は仏教理念を核とした運営を行っており、皆の見守る中、終末を迎える考えが浸透しています。ご家族の理解度も高く、29年度は、36名のゲストをお見送りすることができました。

また、施設の態勢としては、浴室増設や屋上整備、外壁改修等、改修工数の多い年となりました。尚、北九州の5施設は施設設備の保守契約を結び、施設職員では目の届かない細部への管理が可能となりました。

このような状況の中、善興会法人本部では、平成29年度事業として以下の点を重点項目として掲げ、事業推進に努めて一定の成果を得るに至りましたので、ここにご報告いたします。

1. 当法人の適切な運営と経営基盤の安定を図るため、理事会・評議員会・評議員選任解任委員会審議を開催しました。

(1) 平成29年 5月24日(水)

第1回理事会 14:00～16:00

- ・平成28年度 事業報告
- ・平成28年度 決算報告
- ・監事監査結果報告
- ・杉の湯荘シロアリ駆除工事
- ・第三善興園ユニットバス設置工事
- ・善興園デイサービス屋上防水工事
- ・善興園デイサービス内部照明器具改修工事
- ・第二善興園デイサービス防水補修工事
- ・第二善興園デイサービス地階間仕切り工事

(2) 平成29年 6月 8日(木)

第1回評議員会 14:00～16:00

- ・平成28年度 事業報告
- ・平成28年度 決算報告

- ・監事監査結果報告
 - ・役員を選任
 - ・杉の湯荘シロアリ駆除工事
 - ・第三善興園ユニットバス設置工事
 - ・善興園デイサービス屋上防水工事
 - ・善興園デイサービス内部照明器具改修工事
 - ・第二善興園デイサービス防水補修工事
 - ・第二善興園デイサービス地階間仕切り工事
- 第2回理事会　　16：00～17：00
- ・理事長及び業務執行理事の選定

- (3) 平成29年12月 9日(土)
- 第3回理事会　　16：00～17：00
- ・評議員選任候補者の推薦及び解任提案
 - ・善興会経理規程改正

- (4) 平成29年12月10日(日)
- 第1回評議員選任解任委員会 14：00～15：00
- ・評議員の解任及び選任

- (5) 平成29年12月20日(水)
- 第4回理事会　　16：00～17：00
- 第2回評議員会　17：00～18：00
- ・北郷荘第一次補正予算案
 - ・第二善興園解体撤去工事
 - ・第三善興園井水漏れ対策
 - ・施設保守契約
 - ・北郷荘及び杉の湯荘実地指導結果

- (6) 平成30年3月27日(火)
- 第5回理事会　　17：00～18：30
- 第3回評議員会　18：30～20：00
- ・平成29年度第二次補正予算案
 - ・平成30年度事業計画案
 - ・平成30年度資金収支予算

- ・平成29年度一般指導監査
- ・建物メンテナンスチェックシート実施報告
- ・善興園デイサービス照明器具取替成果報告
- ・第二善興園解体工事進捗状況報告
- ・第三善興園軟水器改修工事
- ・北郷荘A棟B棟外壁補修工事

2. 広報事業

機関紙及びインターネット等の情報伝達方法を活用し、社会福祉に関する理解と参加を促進する広報活動を行いました。

- ・社会福祉情報誌『年輪』の発行
- ・八幡東区社会福祉協議会だより（年2回）
- ・八幡西区老連だより（年2回）
- ・各施設機関紙の発行

3. 監査

当法人定款、経理規程にしたがい、監査が行われました。

- ・29年度北九州市一般指導書面監査（H30/3/2 結果報告）
- ・29年度宮崎県実施指導監査（北郷荘 H29/9/8. 杉の湯荘 10/18）
- ・善興会29年度監事監査（H30/5/23）
- ・税理士監査（本部 H30/5/7. 花の王 5/9. ㊸5/10. 北郷 4/10）

4. 教育事業

研修会の実施・参加

- ・九州障害者支援施設協議会主催リーダー職員研修（H29/6/19）
- ・善興会男性職員鞍馬山登山訓練（H29/7/4～7/5・7/19～7/20）
- ・国際福祉機器展（H29/9/28～9/29）
- ・経済産業局主催九州省エネセミナー（H29/10/26）
- ・西日本国際福祉機器展（H29/11/16～11/18）
- ・宮崎県経営協セミナー（H30/1/11）
- ・九州障害者支援施設研究大会（H30/2/21～2/23）
- ・西日本シティ銀行主催セミナー（H30/3/8）
- ・山口県内高等学校就職ガイダンス実施（3/16. 4/17）
- ・社会保険労務士研修会（毎月）

平成 29 年度 事業報告

特別養護老人ホーム 花の王善興園
特別養護老人ホーム 第三善興園

1 共通事項

- ① 入所者の高齢化・重度化による入院や死亡、他の社会福祉施設や事業所、サービス付き高齢者住宅等の増加、(原則) 要介護 3 以上の入所要件による実待機者の減少もあり、新規入所者の獲得に向けた処遇対策等の課題が残る 1 年となりました。このような状況の中、善興会二施設としては、生活保護者等の低所得者の継続的な受入れ、要介護 1・2 の方の特例入所も含めた相談や申込みを積極的に行いましたが、占床率維持のための取組みは、今後ますます重要になると考えます。
- ② 重度・医療的ニーズの高い利用者や認知症への対応が困難であることを理由に、入所を打診できないケースもありました。受入れ態勢・対応力の強化が求められるなか、施設内外での研修実施や対応が十分とは言えず、今後の継続課題となりました。
- ③ 入所者の対象が比較的介護度が高い方(要介護 3~5)のため、積極的な運動(筋力アップやストレッチ等)の実施というよりも、日常生活に即した訓練の提供(日常生活訓練)を提供してきました。理学療法士・作業療法士との連携のもと、入所者の残存機能の低下を防止するために、入所者の意欲を引き出すリハビリの実施に努めました。
- ④ 介護職員の腰痛症検診は、年 1 回の実施は継続出来ています。また、ストレスチェックを活用した自己検査を行い、集計・分析を行いながら産業医とともに職員の高ストレス防止対策に努めました。職員の心身の健康改善を図り、仕事の楽しさを見つけ出し、やる気を引き出すことが、仕事の効率・生産性を上げ、結果、入

所者へのより良いケアに繋がることとなります。今後は、国が推進する「働き方改革」を進めていくため、ストレスチェック制度における集団分析の結果等も利用した職場環境の改善に取り組んでいきます。

2 拠点区分毎（ショートステイ含む）

●花の王善興園

1) 取組結果報告

・旧善興園・旧第二善興園の統合初年度となる平成29年度は、新体制での基礎作りをメインとして、下記の重点項目に取り組んできました。

○ 新体制での基礎作りにとって非常に重要な要素として「入所者・家族・職員との信頼関係構築」があげられます。一日でも早く顔なじみの関係を築くために、入所者及び職員のユニットごとの混合配置を行いました。また、家族へは普段からできるだけ顔を合わせて説明を行う機会を作るなど、顔のわかる関係での信頼関係作りに努めてきました。

○ 今年度は、家族の面会も多くなったように感じました。花の王善興園の駐車場やバスの利便性により、面会に来やすい環境と喜ばれる声も多く聞かれます。また、施設玄関前には、バスの時刻表を設置することで、面会時間を有意義に過ごしていただけるよう配慮いたしました。

○ 自治区会、社会福祉協議会等との良好な関係構築にあたっては、前田祇園山笠（7/16・7/17）、平野まちづくり協議会・生涯学習部会の主催による「介護保険制度の動向と介護ロボット実用化の実態」についての講演会（8/23、於：平野市民センター）、八幡東区民生委員会による花の王善興園見学（12/11）の参加や受入れを行いました。

○ **新規嘱託医** 桃園公園クリニック（北九州市八幡東区桃園1-5-1）平成29年4月1日より配置。施設から近距離であるとともに、休日・夜間での往診も可能であり、利用者の急変時にも迅速に対応でき、利用者や家族、そして職員にも安心できる体制が確保できました。

・ショートステイでは、年度当初は移転開設後間もないこともあり稼働率が上がらない状況でしたが、居宅支援事業所等からの問合せや

相談があり、新規利用者の受入れから定期利用へと繋がった結果、徐々に稼働率も上がってきました。今後も、当事業所への信頼、安心感が浸透していくように取り組んでいきます。

● 第三善興園

1) 取組結果報告

・ホーム本体については、

○占床率は、昨年度とほぼ同率となりました。医療機関への入院が、月平均1名多く、入院長期化による退所もでる中で、介護度1・2の方の特例入所や保護課からの受入について、希望に応えることができました。

○昨年度に続き、家族からの経済的虐待と介護放棄が疑われるという、やむを得ない事由により、受け入れができないかとの要望が、八幡西区の地域包括センターからあり、緊急的な措置入所として承諾し、安心安全な生活の場を提供いたしました。

○ボランティア活動が、ポイント化される北九州市の「介護支援ボランティア」受入施設として登録することで、社会貢献や地域との交流を図りながら、施設生活をより豊かにすることを目的とし、定例となっています。

○褥瘡(床ずれ)件数は、軽度者2名程度の現状です。一方で治癒がなかなか進まなかった例もあり、一旦入院治療で回復を図り、退院後は、病院でのケアの注意点や処置方法を改めて参考にすることで、順調に経過しました。

○社会福祉主事資格受講に対して、研修費用の支援や勤務調整等の支援を行い、介護職員1名が資格取得をいたしました。

・ショートステイについては、

○同フロアに専用の浴室と入浴用リフトを設置することで、移動時間・介助負担削減ができ、利用者及び職員への環境改善が図られました。

○流行の拡大が懸念された昨季のインフルエンザについては、ご利用者へ、ご家庭での体温計測の勧めや同居家族の罹患状況などを情報交換し、院内感染防止に努めることができました。

2) 建物、備品及び環境等の管理整備

・備品購入等、別紙あり

障害福祉サービス事業

平成29年度 事業報告

障害者支援施設 北郷荘

社会福祉法の改正に伴って、今後の社会福祉事業は「公益性」を効率的に発揮し、その使命に基づく理念を自主的・自立的に経営に反映することが、より一層社会貢献となってまいりました。

そのため法人としてもその準備を本年度中に検討・計画を推し進めてまいり、年度末には県福祉保健部に事業計画書を提出し、平成30年度より法人と施設で本格的に参画・実践してまいります。

施設においては、社会福祉の充実と発展に寄与することと目的を果たすため、ひとり一人知識・技術を図るための研修会の参加や施設内での勉強会・各種委員会において、質の向上と人材育成に努めてまいりました。

また、利用者の重度化・高齢化のもとで個々に則した処遇支援として、外出支援、日中活動や各種クラブ活動の継続と充実に取り組んでまいりました。

一方、リハビリテーションは二人の理学療法士のもとで個別リハビリ計画書を作成し、機能低下の防止・維持を図り、成果を上げてまいりました。

なお、現状の社会福祉法人の取り巻く環境が大きく変化するなか、施設として課題山積のなか徐々に構築へ向けて浸透してまいりました。

取組実施報告

- ① 外部各種研修会、施設内勉強会を開催し、ひとり一人の意識改革と処遇の向上に努めました。また、虐待防止策として、毎月スローガンを掲げ、毎日朝礼時と各階で唱和してまいりました。
- ② 権利擁護・第三者委員会では、利用者や家族等の意見を真摯に受け入れ、よりよいサービス支援と資質の向上に努めました。
- ③ 安心・安全で笑顔あふれる雰囲気のもとで、日中活動（レクリエーション）及び各種教室の支援に力を注ぎました。

- ④ 防災意識の高揚のための防火訓練・消火器・消火栓訓練を行ないました。また、救急蘇生法（A E D含む）を日南市消防署より指導を受けました。
- ⑤ ボランティア・実習生の受け入れる環境と体制づくり、また社会貢献と地域との関わりある連携に取り組みました。
- ⑥ 施設内感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）の予防を図るための措置として衛生管理の周知徹底を行ないました。
- ⑦ 設備・備品修理等を随時行ないました。
- ⑧ 一時日中支援事業の拡充に努めました。
- ⑨ 市社協主催行事及び遺族会等へのマイクロバスの貸し出しをしています。
- ⑩ 施設内の夏祭り、その他の行事へ民生委員、地区住民及び地域の方々との交流を図っています。
- ⑪ 市内の福祉まつりの参加や各種展示会への出展や鑑賞へ出掛けています。

ケアホーム・グループホーム杉の湯荘

杉の湯荘も北郷荘と同様によりよい環境のもとで、資質の向上を目指し、外部研修会・毎月の勉強会において、その使命を果たすべくために日々研鑽を重ね効率化を図ってまいりました。

また、職員・世話人の情報の共有化にて、利用者が安心して明るく生活環境づくりを行ない家庭的雰囲気サービスを展開してきました。

- ① 地域との交流を図るための就労支援事業に参画できるよう促しました。

- ② 身体機能維持のためのリハビリテーションを実施しました。
- ③ 衛生面・清潔面の保持、感染症予防に努めました。
- ④ 備品（洗濯機・防火誘導灯）の修繕を行ないました。

サポートセンター北郷の里

前任者の相談支援専門員と交代して1年半を経過しました。
サービス等利用計画も順調に立案できるようになり、また専門的知識も得、また他の各事業所との連携を図れる体制づくりも整ってまいりました。

サービス等利用計画は、本人本位を基に施設職員と協議のうえ立案し、迅速・且つ内容の充実を図ってまいりました。

- ① 本年度の利用サービス計画は94名です。
- ② 相談を重視し立案の内容を利用者のニーズに則ったものを提供してまいりました。
- ③ 事業所の増加傾向になっているので日々情報の共有化と連携を図ってきました。
- ④ 行政及び各社会福祉協議会との一体化の連携を図りました。

平成29年度 事業報告

善興園デイサービスセンター
第二善興園デイサービスセンター

1 総括

「安心して過ごせる老後の生活は在宅で」という介護保険の基本的な考えから、より在宅系のサービスに力点が置かれています。特に、通所介護においては、心身機能の維持向上、活動の維持・向上、社会参加の促進に加え、認知症高齢者・重度者への対応、地域連携の拠点としての機能が求められています。

そのような中、善興会通所介護事業所では、週替わりで多種多様なレクリエーションプログラムのほか、四季折々のドライブや外出支援（地域社会交流機会訓練）も実施してきました。

また、現在、善興園通所介護事業所で実施しているリハビリ専門職（理学療法士）による個別機能訓練では、利用者の方が楽しみながら継続して行える運動プログラム、利用者個々に合わせた機能訓練を行ってきました。

一方、第二善興園通所介護事業所においては、「リハビリ専門職（理学療法士）の配置・機能訓練の導入」を運営改善目標として掲げていましたが、本体施設解体撤去工事に伴い、平成29年8月から平成30年7月末まで休止中となっています。今後は、北九州市による「北九州市いきいき長寿プラン（平成30年度～平成32年度）に係る施設整備計画」に基づいて、第二善興園の跡地整備に合わせた新たな事業運営を目指し準備を進めていきます

2 活動報告

① アクティビティの開発・提供

・レクリエーションや創作活動、外出支援（外食・買い物・博物館）等のアクティビティを実施しました。多くの利用者が日々の生活の中で外出する機会が少ない中、利用者からも満足の声をいただいています。

今後も、心身の機能訓練・向上に加えて刺激や感動を味わっていただくために、外出支援を計画していきたいと思えます。

一方、新たなアクティビティの開発については、定期的に職員間で話し合いを行いながら新しい企画を取り入れるようにしてきましたが、限

られた職員の提案から企画となるが多かったため、今後会議での活発な意見交換を行い、利用者へのサービス提供を行っていく必要があります。

② 職員の技術向上や研修会の実施

・園内研修については、毎月ごとにテーマ・課題を設けて実施し、職員の知識・技術向上へ取り組んできました。

一方、外部研修については、職員体制及び業務の都合により一部の職員のみ参加となったことが、次年度に向けての課題となりました。

今後は、外部研修を通してよりよい支援の提供を学ぶ機会を設けます。

③ 介護予防・日常生活支援総合事業の取組み

・平成28年10月から「介護予防・日常生活支援総合事業」(以下、総合事業)が開始された中、善興会通所介護事業所では、従来と同じ「介護予防事業相当サービス」を要支援者へ提供してきました。

また、総合事業のみなし指定にかかる有効期限が、平成30年3月末で終了となるため、今回、指定更新の申請手続きを行い、平成30年4月1日以降も引き続き事業を継続する運びとなりました。

④ その他(経年劣化に伴う補修・備品購入)

・備品購入等、別紙あり

平成29年度 事業報告

善興会ケアプランセンターゴクラク

1、総括

地域ケアシステムとは、利用者が住み慣れた地域で安心して暮らせる様に医療や介護など生活を支える為のサポートが日常生活の場で適切に提供される事を目指しているものであり、当ケアプランセンターにおいても地域包括ケアの役割の一つとして在宅介護を中心に各専門職との連携にて生活支援を実施してまいりました。今年度は在宅において重度褥瘡や経管栄養対象者など医療ニーズが高い方や経済的理由により劣悪な生活環境下で日常生活を送りつづける方など様々な生活障害を抱えている方への関わりも多く対応致しました。また、独居生活者においても身寄りがいない方へ緊急時など夜間帯の訪問など臨機応変に対応する場面も多々ありましたが、法人内サービスや成年後見制度の活用など多様な社会資源との連携対応において、各ご利用者の皆様に少しでも生活に安心を取り戻して頂けたと考えております。今後も円滑な支援継続が図れる様に介護専門職としての力量を高める為、ケアプランセンター内の介護支援専門員のそれぞれの自己研鑽及び地域サービス事業所等の関係者と連携を充実させてまいります。

2、取り組み結果報告

①福岡県介護支援専門員実務研修受け入れについて

今年度は介護支援専門員養成研修における実習生の受け入れを2名行いました。事前に実習生及び訪問依頼を行ったご利用者に対し十分な説明を行い、個人情報漏洩など注意点を確認し、一連のケアマネジメントプロセスを各3日間に亘り同行実習を行いました。

②地域の介護サービス事業所との合同研修会の企画について

平成30年度4月より介護報酬改定に伴い、特定事業所加算Ⅲを算定している当法人に地域のケアマネジメント機能を向上させる事を目的に法人外在宅介護支援との共同研修が義務づけられました。その為、平成30年度に向けて地域包括支援センター八幡西2及び他法人4事業所と共

に共同研修計画を作成し、地域の居宅介護支援事業所への支援を行う事としました。平成30年度は事例検討会を開催し、多数の介護支援専門員の方々と利用者への対応力や地域課題の検討など多目的で学習を行える様に計画を実施しております。

【平成29年度研修報告】

開催日	研修名	主催	内容	参加者数
6月	事業所連絡会	地域包括支援センター八幡西2	介護支援専門員実務研修の変更点とケアプランチェック	3名
6月	介護支援専門員研修専門Ⅰ	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
7月	介護支援専門員研修専門Ⅰ	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
8月	介護支援専門員研修専門Ⅰ	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
8月	多職種連携研修	八幡在宅医療・介護連携支援センター	事例検討	1名
9月	介護支援専門員研修専門Ⅰ	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
9月	行方不明者捜索模擬訓練	長崎自治区	行方不明者捜索模擬訓練	3名
9月	介護支援専門員研修専門Ⅰ	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
8月	多職種連携研修	八幡在宅医療・介護連携支援センター	事例検討	1名
10月	八幡西区ケアマネジメント研修会	八幡西統括支援センター	糖尿病について 障害福祉サービスと介護保険サービス	2名
10月	主任介護支援専門員更新研修	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
10月	介護支援専門員研修専門Ⅱ	福岡県介護支援専門員協会	更新研修前期	1名
11月	RUN 伴	地域介護事業所	認知症啓発運動	1名

11月	介護支援専門員研修専門Ⅱ	福岡県介護支援 専門員協会	更新研修前期	1名
11月	主任介護支援専門員更新研 修	福岡県介護支援 専門員協会	更新研修前期	1名
12月	主任介護支援専門員更新研 修	福岡県介護支援 専門員協会	更新研修前期	1名
2月	在宅 医療介護従事者研修	八幡医師会	地域包括ケアシステム	2名
2月	中間市居宅介護支援事業 者等研修会	中間市	リハビリ	1名
2月	八幡西ケアマネジメント 研修会	八幡西統括支援 センター	民生委員・児童委員・ケア マネジャー・消防職員によ る交流会	1名